



柿崎 直治

質問

花水木を基調とした観光立町湯沢町に、東西を分断して流れる清流魚野川はかけがえのない自然資源であります。毎年夏ともなれば、県内外から老若男女を問わず多くの人が立柄橋上下の穴沢河川公園を訪れ、水辺で遊んでおります。

この美しくきれいな水とその水辺環境を保全し、次世代に継承するのは行政の役目です。現在数多くの自治体が条例を制定して、河川環境を守っている現実もあります。

湯沢町は観光が基幹産業であり、なお更にこうした条例の制定によって河川環境を守っていかねければなりません。そこで以下の質問にお答えください。

① 河川美化条例の制定に

ついて町長はどう考えているか。

② 花水木構想のなかで水の位置づけと今後それを夏場観光にどのように活かしていくつもりか。

町長答弁

現在町では河川環境整備ということで環境指導員、衛生組合、東京電力など各団体の皆さんのご協力を得て、不法投棄物などの除去を行っているところであります。河川環境保全ということでの河川美化条例の制定については、河川法など上位法との協議も必要であることから、これから全国の前例を調査し検討していきたいと考えています。

花水木構想の中で水の位置づけという点については、湯沢の川の水がきれいであるということは町の財産であるところであり、私も常々思っているところであります。昨年行われた町観光協会主催の「ありがと湯沢 第2回アユ釣り大会」も各団体からのご協力を得て、前年にもまして大盛況でありましたが、これらのイベントもこれからの夏場観光の一つの指針になるかと思われ、自然環境を大切にしたい、自然環境を大切にした湯沢ならではの夏のイベントを、関係団体の皆さんと協議しながら進めていきたいと思っております。

河川美化条例の制定について

質問

平成25年開業予定の北陸新幹線全線開通問題は、湯沢町ならず現上越新幹線沿線で観光産業に依存する自

湯沢駅構内への観光協会の移転案について

産であると、私も常々思っているところであり、昨年行われた町観光協会主催の「ありがと湯沢 第2回アユ釣り大会」も各団体からのご協力を得て、前年にもまして大盛況でありましたが、これらのイベントもこれからの夏場観光の一つの指針になるかと思われ、自然環境を大切にしたい、自然環境を大切にした湯沢ならではの夏のイベントを、関係団体の皆さんと協議しながら進めていきたいと思っております。

町長答弁

新幹線改札口から一番よく見えるのが現在のビューの位置であります。そこであるとかこの位置を借りて、湯沢町だけでなく新潟県全体とも言える観光インフォメーションを設置し、佐渡や北陸線をも含めたナビゲーター機能を充実させたいというのが私の希望です。

JR東日本でも出札とビューを一体化させるという方針には変わりありませんが、実施時期については未定であるというのが現状です。そこで、事前の策として現在ビューの西側の一角に町観光協会と越後魚沼観光開発協議会が共同で借りている5坪程度のスペースを改築してもらうことに決



一部改築が行われる湯沢駅ビュー案内所内の広域観光情報センター

定、11月には完成予定であります。

ビューと独立させることで夜間や土・日曜も使用することができ、とりあえず12月からの繁忙期には観光案内の利便性が図られると期待しているところであります。

当初の目標である観光インフォメーションセンターの設置については、県の中でも2014年問題の対応策を練る専門チームが9月に発足するという話がありますので、今後これらの組織とも協力、連携して目標の実現を目指してがんばっていきたくと考えております。